

(様式2)



平成28年 11月 29日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 丹政会
代表者氏名 池田 恵一



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので届け出ます。

記

- 1 日程
平成28年11月24日(木)～25日(金)
- 2 場所
○ 衆議院議員会館 24日
○ 国土交通省 25日
- 3 目的
山陰近畿自動車道整備促進決起大会への参加及び
国交省への要望・陳情活動。
- 4 該当する政務活動費の使途項目
要請・陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額
別紙 精算表
- 6 参加議員名
池田恵一、谷津伸幸、中野勝友
- 7 活動成果の概要、所見
161124-25 報告書
- 8 成果物、資料等
要望書

山陰近畿自動車道早期整備に関する

要 望 書

京丹後市議会 丹政会

山陰近畿自動車道早期整備に関する要望書

京都縦貫道が全線開通し、関連イベントとの相乗効果もあり、京丹後市の観光入込客は、前年比127%、219万人となり、11年ぶりに200万人を超えた。改めて高速道路の必要性、重要性を実感しているところである。また、本年10月には、京丹後市では初めてとなる山陰近畿自動車道 京丹後大宮ICが開通した。地元市民を中心に多くの市民の手により歓迎の鯉のぼりが設置されるなど、更なる京丹後市の活性化に期待している。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成し、高規格道路に匹敵する重要な道路であるにもかかわらず、日本海側唯一の「空白地帯」となっており、京都府内43kmの内、供用中あるいは事業化されたのは約16kmしかなく、最も整備が遅れている。また、京丹後市では、緊迫する東アジア情勢に鑑み、国防の要となる米軍TPY-2レーダー（Xバンドレーダー）を市民の安全・安心を前提として受け入れている。

こうした状況を踏まえ、地域の安全・安心と国土の強靱化を実現するため、計画的かつ着実に山陰近畿自動車道の全線早期整備が進められるよう、下記の事項を要望する。

- 一、 大宮峰山道路の一日も早い完成に向け、事業を推進すること
- 一、 大宮峰山ICから網野ICまでを早期に事業化すること
- 一、 豊岡市から網野ICまでの区間について、本調査を実施すること

平成28年11月25日

京丹後市議会 丹政会

代表 池田 惠一
谷津 伸幸
東田 真希
中野 勝友



国土交通省

国土交通省
道路局長

石川 雄一

〒100-8918 東京都千代田区霞が関二丁目一番三号
電話 〇三(五二五三)八一一一
E-mail ishikawa.y8.tu@mlit.go.jp